

ご自由にお持ち帰りください

さくらだより



さくら病院

SAKURA

日本医療機能評価機構認定



さくら病院の理念

愛の心と確かな医療技術を以って社会に奉仕する。

Vol. 45

健・康・通・信



看護部長就任のご挨拶



看護部長

水城 須美子

はじめまして、4月1日よりさくら病院に参りました水城須美子です。福岡県のほぼ中央に位置している嘉麻市にある嘉麻赤十字病院から参りました。さくら病院の「さくら」という言葉は、やさしい響きとひらがなが温かさを感じさせてくれます。私は桜が大好きで、嘉麻市の市の木が桜でした。春は桜が咲き乱れ、嘉麻市全体が桜に包まれ、それは素晴らしく見とれてしまいます。だから「さくら」には何か縁を感じます。

医療・看護を取り巻く環境は大きく変化しており、看護職が果たす役割は拡大しています。看護職としての責任を果たし、期待に応えるためには、現状に甘んじることなくよりよい看護とは何かを追求し、自ら問題を見出し解決していく「考える」看護師、主体的で周りへの配慮ができる「自律した」看護師が求められます。

キーワードは「連携」と「地域性」。地域に貢献できる病院を目指し、共に成長できる看護部、病院でありたいと思います。職員ひとりひとりが目の前の患者・家族・利用者に対し、まず自分ができるところを実践することが大事です。それは小さな行動かもしれませんがきっと大きな流れになると信じます。

私の好きなもの…レミオロメン、ダッフィーちゃん、ソフトバンクホークスの本多選手(笑顔が最高です)、紫陽花と沈丁花、美味しいものを食べること…

毎日の感動と感謝、そして笑顔。さくら病院の皆様との出会いを大切に、良き仲間として楽しく働きたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

新任ごあいさつ

消化器内科 花野 貴幸
医師



4月よりさくら病院に勤務させて頂いております花野貴幸です。福岡大学消化器内科の医局に所属しております。さくら病院に来る前は、福西会病院、成人病センター、福岡赤十字病院などに勤務しておりました。現在まで、消化器内科、特に肝疾患を中心に診療してまいりました。

当院でも、内視鏡検査や腹部超音波検査などの消化器系の検査をさせて頂いておりますが、その他に外来、入院の通常の診療とともに訪問診療なども担当させて頂いております。

消化器以外の肺炎、脳梗塞などの疾患や、当院の特徴として、緩和ケア病棟があるために、終末期の患者様を診療する機会が増えました。今までより幅広い疾患を診療させて頂くこととなり、以前勉強した古い知識を刷新しているところです。

さくら病院に通院してこられる患者様、御紹介頂ける開業医の先生方に信頼して頂ける様に一生懸命診療にあたらせて頂き、お役にたてればと思っております。宜しくお願い致します。

はじめまして、4月より3内科病棟に勤務しています吉田さち代です。

人の役にたつ仕事がしたいと思っていました時、母に薦められ看護師になりました。今年は看護師になって31年目です。熊本出身で結婚を機に福岡に来ました。

人見知りや人と話すのが苦手です。苦手意識を克服するために「自分から挨拶、笑顔を添えて」を心がけています。緊張すると怖い顔になるそうなので、ぜひ声をかけてください。

看護の仕事が好きで看護師を続けてきました。つらいこともありますがつぱり看護師でよかったと思います。

患者様、ご家族、同僚、コメディカルスタッフ等の皆さまに出会い励まされてきたおかげだと感謝しています。

一からのスタートになりますが、一生懸命努力し、病院の発展に貢献したいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

3内科病棟 吉田 さち代
師長



4月 いきいき公開セミナー 16日(火) 15:00 「高血圧」

循環器内科 秋満俊介医師

高血圧は、動脈硬化や脳出血、脳梗塞、心筋梗塞など恐ろしい病気が起こるリスクを高めます。

血圧は昼夜、季節、運動などにより変動します。1日の内では早朝から昼ごろにかけて血圧は上昇します。起床後1時間以内に心筋梗塞が多発するのはそのためです。

では、高血圧を改善したり、予防したりするにはどうすればよいのでしょうか。

高血圧は塩分の取りすぎ、過度の飲酒、肥満、運動不足、ストレス、喫煙などの良くない生活習慣で起こりやすくなります。逆に言えば食事の際に塩分摂取を控えたり、お酒の飲みすぎに注意したり、日常的に運動をしたりすることで改善することも可能です。

「最近、血圧が気になる」という方は、ぜひかかりつけの医師にご相談ください。



6月 いきいき公開セミナー 28日(金) 15:00 「急増するタバコ病・COPD やってみよう肺機能検査」

臨床検査科 香月正美

現代はストレス社会といわれていますが、私達はその中で様々なストレスの解消法を見つけながら暮らしています。

喫煙もいろいろを抑える上ではその方法の一つなのかもしれませんが、喫煙は「百害あって、一利なし」と言われるように人間の体にとって何のメリットもありません。

喫煙とCOPD(慢性閉塞性肺疾患)は大きく関わっており、COPD患者の実に90%は喫煙者だと言われています。COPDとは肺気腫と慢性気管支炎の総称であり、診断にもっとも有用なのが肺機能検査になります。肺機能検査の中でも努力性肺活量を測定することにより、一秒量(最初の一秒間に吐けた呼気量)の占める割合(1秒率)がわかります。1秒率が70%を下回るとCOPDが疑われます。

咳や息切れが起きる。しかも長く続く場合はCOPDのサインかもしれません。COPDの診断は早ければ早いほど、治療の効果が高く、肺機能の悪化を食い止めることができます。

みなさんも進んで肺機能検査を受けて、ご自身の健康チェックをされてみてはいかがでしょうか!



ピロリ菌について

消化器内科 天野角哉

? ピロリ菌とは?

ピロリ菌は正式にはヘリコバクター・ピロリといいグラム陰性らせん状桿菌という細菌の一種です。1983年にオーストラリアのウォレン博士とマーシャル博士によって発見され、2人は2005年にノーベル医学生理学賞を受賞しています。胃の中は胃酸が出ているため通常の菌は死んでしまいますが、ピロリ菌は特殊な酵素でアンモニアを発生して胃酸から自分を守っているため、胃の中で生きることができます。

↓ どんな症状?

ピロリ菌は胃粘膜に持続的に感染し胃粘膜障害を起こし胃炎を来します。ピロリ菌感染胃炎は消化性潰瘍や胃MALTリンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病などの原因の一つといわれています。また、萎縮性胃炎を経て一部は胃癌を引き起こすことが知られています。今までは、ピロリ菌感染胃炎はピロリ菌治療(除菌といいます)の適応外でしたが、今年の2月21日からピロリ菌感染胃炎も除菌治療の適応となり、多くの人が保険で除菌治療ができるようになりました。

ピロリ菌には全ての人が感染しているわけではありませんが年齢とともに感染率は増加し、20歳代では約15%、50歳代以上では約70%以上の人感染しているとされています。

どのように感染するかははっきりとわかっていませんが、口から感染するのが大部分であると考えられています。

+ 診断方法は?

ピロリ菌感染の確認には、内視鏡で組織を採取する迅速ウレアーゼ試験法、鏡検法、培養法と内視鏡を行わない抗体測定法、尿素呼気試験法、糞便中抗原測定法があり、いずれかの方法で診断します。

🩺 治療は?

従来はピロリ菌の除菌治療の適応はピロリ菌に感染している胃潰瘍・十二指腸潰瘍、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃、胃MALTリンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病の患者さんのみで胃炎の患者さんは含まれていませんでした。しかし、今年から内視鏡検査で胃炎と診断され、上記のピロリ菌検査で感染が確認された人も除菌治療の適応となりました。

除菌治療は2種類の抗生物質と胃酸を抑える胃薬の3種類を朝食後と夕食後の1日2回1週間服用することで、約70~80%の患者さんは除菌できます。服用を忘れて、途中で中止したりすると除菌成功率が低下するので、1週間きちんと服用する必要があります。

しかしながら、100%除菌できるわけではないので除菌治療終了後4週間以上の間をあけて、再度ピロリ菌検査を行いピロリ菌がいなくなったことを確認する必要があります。1回目の除菌治療で除菌できなかった場合は薬を変えて再度除菌治療を行います。2回目の除菌治療では約90%の患者さんが除菌できるとされています。

💡 治療の副作用は?

除菌治療薬の主な副作用として、下痢、軟便、味覚異常、肝機能障害などがあります。これらの症状や気になる症状が出た場合は、自己判断で薬を減らしたり中止せずに主治医または薬剤師に相談してください。

また、除菌治療によりピロリ菌がいなくなると胃酸の分泌が正常化します。以前より胃酸の分泌が増えることで5~10%の人に逆流性食道炎が起こることが報告されていますが、軽症の場合が多く治療が必要となることはまれです。



部署
紹介

リハビリテーション科

リハビリテーション(以下、リハビリ)とは、身体の不自由な方々が、住みなれた地域で生き生きと豊かに生活することを援助する、医療・保健・福祉・教育の総合的な支援体系を言います。

さくら病院リハビリ科では、患者様・利用者様に、より効果的なリハビリを受けて頂けるよう、医師の指導のもと各専門スタッフ(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師・MSW等)が協力しながら取り組んでいます。

理学療法士は、寝返る、起き上がる、立ち上がる、歩くなどの日常生活を行う上で基本となる動作の改善を目指していきます。関節の動きの改善、筋力の強化、麻痺の回復、痛みの軽減などの治療や、坐位練習・起立練習・歩行練習などの動作の練習を行い、身体機能の改善をサポートしていきます。また、物理療法という温熱・寒冷・電気・牽引治療等を行い、痛みの軽減、循環の改善なども行っています。

作業療法士は、主に作業活動を用いて運動機能、精神機能を高め、生活に必要な身の回りの動作の獲得、社会適応能力の改善を図ります。また、その方の生活環境、社会的役割に合わせて家事訓練、復職訓練などを行い、環境や資源を整え、その人らしい生活を送って頂けるよう支援しています。

言語聴覚士は、言葉を話したり理解したりすることが難しい、読み書きが難しい、物事を記憶したり判断したりすることが難しいなどの症状がある方、またはそれが予想される方に検査や訓練を行い、コミュニケーション能力の改善を図ります。

さくら病院には、日常生活動作能力の向上、家庭復帰を目的とし、集中的にリハビリを行う病棟(回復期リハビリ病棟)があります。必要に応じて早期に家屋調査を実施し、退院後の生活を想定したリハビリを提供し、スムーズな退院調整(住宅改修や福祉用具選定のアドバイス等)に繋がっています。また、理学療法士等がご自宅を訪問し、心身機能の維持・改善や日常生活動作の維持・向上のためにリハビリを行う訪問リハビリも行っています。

日常生活の中で不自由を感じられることがあれば、担当の医師にご相談下さい。理学療法士・作業療法士・言語聴覚士、各種専門スタッフが、それぞれの症状にきめ細かく対応し、入院から退院まで、また在宅復帰後もトータルにサポートさせていただきます。



平成25年度

第15回 さくらフォーラム開催!

あじさいの花が梅雨空に美しく映える季節のなかで、「さくらフォーラム」が平成25年6月17日(月)にソラリア西鉄ホテルで開催されました。

日頃から、病診連携で御協力を頂いています先生方や多職種の方に御参加頂き有難うございました。

フォーラムでは、まず初めに診療・病診連携の情報と医局の医師・看護部の部門責任者の紹介が行われました。

次に、特別講演として福岡大学医学部 放射線医学教室 主任教授 吉満 研吾 先生により「肝画像診断と肝癌の治療:最近の話題」の御講演をして頂きました。

御講演後は、懇親会で先生方と情報交換ができて楽しい時間を過ごす事が出来ました。

今回のさくらフォーラムでは連携の重要性を再確認する事ができ、又、今後もより一層高めていく事が必要であると感じました。

今後とも地域住民の方にさらに安心した医療・介護を提供できるように取り組んでいきたいと思っております。

今回の開催に多くの御協力を頂きまして有難うございました。

新設連携施設のご紹介

ライフケア柏原



ライフケア柏原は、南に片縄山、油山市民の森、西に花畑園芸公園、北は住宅地という、自然豊かな、ゆったりとした環境に囲まれております。周辺道路も整備されており、公共交通機関は西鉄バスがあります。協力病院にも近く、高齢者の方々が日常生活を体感しながら暮らすことができる、理想的な環境にあると考えております。建物は鉄筋3階建てで、1階が管理棟、2・3階が利用者の居室となっており、全室個室のユニット型特別養護老人ホームです。

ユニットケアの意義

- 1 入居者は個性とプライバシーが確保された生活空間を持つことができる。
- 2 個室の近くに交流できる空間を設けることにより、他の入居者と良好な関係を築く事ができ、相互の交流が進む。
- 3 自分の生活空間ができ、かつ少人数の入居者が交流できる空間もあるので、入居者のストレスが減る。
- 4 家族が周囲に気兼ねすることなく訪問できるようになり、家族関係が深まることにもつながる。
- 5 感染症の予防にも効果がある。

以上の点をふまえ、職員のきめ細やかな介護サービスの提供を行い、家庭的な施設づくりを目指しております。

運営方針

当施設ではライフケアしかたと同様、「住むところ、笑むところ、活きるところ」という運営方針を掲げております。

「住むところ」として…

- ・自分に合ったペースで過ごせるところ
- ・居心地の良い環境で過ごせるところ
- ・意思や自己決定を大切にるところ

「笑むところ」として…

- ・馴染みの関係が継続出来るところ
- ・個々のためのチームケアが実践できるところ
- ・楽しいと思えることを一緒に探すところ

「活きるところ」として…

- ・経験や生活史を活かせるところ
- ・今出来ることを活かせるところ
- ・これからも生き生きと暮らせるところ

この方針に則り、ご入居者、ご利用者様の可能性を信じて、その方主体のケアを提供できるよう、職員一同日々努力しております。

2内科

七夕会



福岡の梅雨明けした7月8日、天の川を渡り彦星と織姫の再会を祝い、お花と星ふる会場に沢山の患者様をお迎えしました。今年はいつもの白衣から、可愛い浴衣姿の司会者に夏をすこし感じていただいたようです。

浴衣姿とりハピリさん手作りでアニメのガンダムのコスチューム姿のスタッフに驚きながらも会場は笑顔いっぱい。浴衣姿のスタッフのピアノ演奏で七夕の歌、憧れのハワイ航路、上を向いて歩こう、の歌に皆さん若い頃を思い出されたのか大きな声で歌っていました。

川の流れのように。クローズツューユーのピアノ演奏にうっとり。他病棟スタッフによる七夕ゲームでなるほどねーと感心されたり、スタッフ余興による花笠音頭、花笠を手に飛び入り

参加された患者さまのとても上手な姿に一人二人と踊りの参加者で華やかな花笠音頭にアンコール。

茶話会ではお菓子とお茶で和まれ、浴衣姿のスタッフやコスチューム姿のスタッフと記念写真を撮ったり、お話しされたりと楽しそうでした。

患者様の笑顔とお褒めのことばで一年に一度会える彦星と織姫の喜びのように思え安心しました。



こんにちは!

医療連携相談室です。 どうぞお気軽にご相談ください。

医療連携相談室では、患者様・ご家族からの様々なご相談を承っています。

例えば、当院への入院のご相談・退院後の生活に対する不安・介護サービス等社会資源のご紹介・経済的な問題についてなど、一緒に考えさせていただきます。

また、患者様へ適切な医療が提供できるよう、地域の診療所や病院・施設・在宅サービス事業所等との連携に努めています。

どうぞお気軽にお声かけください。

医療連携相談室

TEL 092-801-7386 (事務課)

FAX 092-864-1213 (直通)

担当者 医療連携相談室長

楠原 浩之

医療ソーシャルワーカー

小川 美和・松山 章子・山内 めぐみ



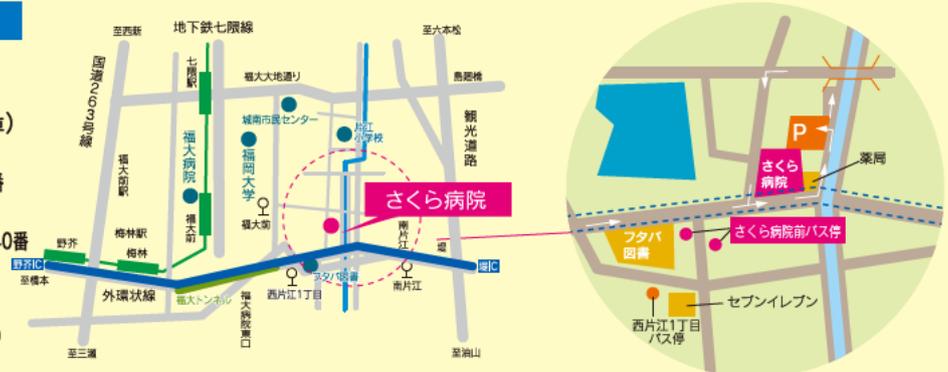
相談受付 平日:午前9:00~午後5:00
土曜日:午前9:00~午後12:30

外来診察表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日		
午前	第1診察室	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科		
	第2診察室	楠原 内科/消化器科(肝臓)	王寺 内科/胃腸科	秋満 内科/循環器	西本 内科/胃腸科	王寺 内科/胃腸科	楠原 内科/消化器科(肝臓)		
	第3診察室	花野 内科/消化器科(肝臓)	村上 内科/心臓内科	天野 内科/胃腸科	天野 内科/胃腸科	古屋 内科/消化器科	井手 内科/糖尿病外科		
	第5診察室		熊谷 循環器内科	岩崎 リハビリ・整形外科					
午後	第1診察室	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	王寺 内科/胃腸科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科			
	第2診察室	秋満 内科/循環器	西本 内科/胃腸科	白橋 内科/血液・腫瘍	楠原 内科/緩和ケア	秋満 内科/循環器			
	第3診察室	村上 内科/心臓内科	知念 内科/胃腸科	佐々木(靖) 循環器(隔週)	早田 内科消化器科(肝臓)	知念 内科/胃腸科			
	第5診察室	古屋 内科/消化器科				中園/江藤 内科/心臓内科			
専門外来(予約制)	午前		村上 心臓内科	熊谷 循環器	岩崎 リハビリ外来	渡辺 呼吸器内科外来	井手 糖尿病外来		
	午後	川添 神経内科	村上 心臓内科		白橋 血液・腫瘍外来	佐々木(靖) 循環器外来	楠原 緩和ケア外来	早田 肝臓外来	安部 脳神経外科

病院までの交通アクセス

- 地下鉄七隈線
(福大前下車、1番出口より徒歩10分)
- バス(西鉄バス西片江1丁目バス停下車)
西鉄バス系統番号
(天神方面より) 12,13,14,61,114,140番
(西新・飯倉方面より) 95番
(博多駅方面より) 12,13,16,18,64,114,140番
(松原・片江方面より) 6,12,13,14,16,18,61,64,95番
- 車(病院裏手に専用駐車場があります)
天神より約30分・堤ICより約5分



医療法人社団 江頭会 さくら病院 在宅医療介護センターさくら
 社会福祉法人 桜花会 ライフケア大手門
 社会福祉法人 桜花会 特別養護老人ホーム ライフケアしかた
 社会福祉法人 桜花会 ライフケア柏原
 高齢者安心ハウス あっとほーむ片江

〒814-0142 福岡市城南区片江4丁目16-15
 TEL092-864-1212 FAX092-865-4570 E-mail:info@sakurahp.or.jp
 ホームページ: http://www.sakurahp.or.jp/(7月ホームページを更新いたしました)

直通TEL
 事務所 092-801-7386
 ユニット 092-872-5615
 1内科 092-872-5611
 2内科 092-872-5612
 3内科 092-872-5613